

キューガーデン

## 英国王室が愛した花々

シャーロット王妃とボタニカルアート

2021年度-

「キューガーデン」の名で親しまれ、ユネスコ世界遺産にも登録されている英国キュー王立植物園。世界の植物学研究をリードし続け、20万点以上の植物画コレクションを収蔵していることでも知られています。同園は18世紀から19世紀初頭、ジョージ3世とシャーロット王妃の時代にその規模を飛躍的に拡げ、整備が進みました。

この時代には、自然科学の発展に伴い、ボタニカルアートも大きく花開きました。正確な描写と美しさを両立する優れた画家が現れ、植物誌の刊行も盛んになり、世界中から集められた色とりどりの花々は一般市民をも魅了しました。



本展では、キュー王立植物園が所蔵する貴重な植物画コレクションを中心に、その歴史を辿ります。また、シャーロット王妃に見出された英国王室御用達ウェッジウッド社の「クイーンズウェア」も併せて展覧し、世界に先駆け近代化の道を進んだ英国の一面をご紹介します。

## 出品作品：

- ポタニカルアート約 100点
- 陶磁器・家具など約30点

## 特別協力：

- 英国キュー王立植物園

## 会期・会場：

### 2020年度

- 山梨県立美術館 ... 2021年2月11日(木・祝)～3月28日(日)

### 2021年度

- 静岡市美術館 ... 2021年4月5日(木)～2021年6月6日(日)

---

<画像>

トマス・ハーヴェイ夫人

プロヴァンスローズ (キャベツローズ) とガリアローズ (フレンチローズ) の栽培品種 (バラ科)

1800年

水彩、紙

35.0 x 25.8

キュー王立植物園

© The Board of Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew

**ご注意：**掲載されている画像・写真・テキストを含むすべてのコンテンツに関する著作権は株式会社ブレイントラストに帰属するか、または使用が許可されており、日本の著作権法および国際条約によって保護されています。特に断り書きのある場合を除き、これらを許可なく利用・複製・再配布・出版することを禁じます。

---

© 2004-2021, Brain Trust Inc. All rights reserved.